おおさき今昔物語
大崎・このまちのルーツを訪ねて その11

集まろう、“大崎の語りべ”達。

過去から現在、未来へと受け継がれていく「ふるさと大崎」のDNA(原風景)を訪ねる『おおさき今昔物語』。
その第11話の主人公は、大崎の今と昔をレポートし続ける“語りべ(語り部)”達。
今年で30年のミニコミ紙「ふれあい」と、インターネットご当地メディア「大崎いっとこ新聞」。
大崎で頑張る両メディアスタッフ達が、座談会を通じて“つながりの語りべ参加”を呼びかけます。

「ふれあい」スタッフがこれまでの想いを込めた100号記念号です。

品川区大崎第二地域センター発行の地域情報誌「ふれあい」は、“手作り感満載”のミニコミ誌。「きれいな装丁のパンフレットのようにはしたくない」と、手書きにこだわりました。地味でも尊い、生きた情報を伝えようとする当誌のポリシーが伝わります。“継続は力なり”とのことで、これからも頑張るそうです。

30年間頑張ってきたミニコミ誌「ふれあい」

司会(「ふれあい」創刊号編集者)　「ふれあい」は、品川区大崎第二地域センターのミニコミ誌として今年で30周年。地域の人や出来ごと、故事来歴などのレポートで大崎の語りべとして頑張ってやってきました。あらためて、編集者としてのポリシーといったものなどを伺いたいですね。

ふれあいスタッフ　例えば人、すごい有名な人は取材しません(笑)。地味でも頑張っている人を取り上げて皆さんに知らせてあげるのが役目です。またスポーツ大会などで優勝したクラブがあっても、それは他の広報誌にお任せです。

大崎いっとこ新聞　30周年ってすごいですね。長く続けてこれた秘訣は何ですか?

ふれあいスタッフ　ボランティアなので、まず自分達が楽しくなければいけないと思います。卓球の取材で、あまりにも楽しそうなのでその場で部員になっちゃったり(笑)、取材が縁でバンドを作ったり、自分達が興味を持ったものを自分達で取材してきました。「安全な公園はどこか」という取材では、赤ちゃん連れのスタッフが何度も現地を廻りましたし、危ない公園と思われたものは直接公園課にも報告しました。

まちをもっと知り、好きになってほしいから続けるレポートワーク

大崎いっとこ新聞　大崎に10年近く住んでいる人で、地元にどんなお祭りがあって、いつやるのかも分からない、という方がいます。有名なお祭りは別として町会の掲示板を見たり図書館に行かなければ知ることができない。この穴を埋めるのがデジタルだと思います。大崎には今までポータルサイトがなかったので、比較的狭い大崎駅周辺エリアと駅から歩いていける範囲の情報をこのメディアで取り上げています。大崎はオフィスビルのまちのイメージが強いのですが、私が実際に住んでみて感じたのは、下町っぽくてのんびりとした風情があったり、適度に仲良くしてくれる温度感。いいまちだと感じました。私に限らず、自分の住んでいるまちのことをもっと知ることでまちを好きになれば、日々の暮らしが楽しいものになると思いますね。そんなお手伝い役ができればと…。

ふれあいスタッフ　子供の頃から大崎に住んでいるので、かえって見えてこなかったこのまちの良さを、今度は私達が子供に伝えなければと感じています。語りべとして伝え、残していかなければいけない大崎の事柄を、これからもレポートしていきたいですね。

つながり、広げていきたい“語りべの輪”

司会　「ふれあい」30周年を機に、これまでの取材テープやビデオをデジタル化して公開する予定です。この中には、おじいちゃんとおばあちゃんが語る貴重な大崎の昔話もいっぱいです。また今年の「しながわ夢さん橋」では、O美術館で「大崎今昔展」を開催する予定です。大崎の原風景や魅力を、これから多くの人々の協力を得てもっと広く伝えていきたいですね。この「新鮮大崎」の中でも、これからも古い写真や記録資料をお持ちの方に参加いただいて、まちの今昔を伝えていきたいし、「ふれあい」もこれからに期待です。

ふれあいスタッフ　「ふれあい」を続けていく意義を一緒に感じていただける方にぜひ参加してほしいですね。いろんな人に会えて、いろんな話が聞けるのも楽しいですし…。大好きな大崎の良さを残したいから“どう、後継者”です。

皆様の情報お待ちしています

●大崎で撮った古い写真、大崎でのできごとの映像テープ…などお持ちの方はいらっしゃいませんか?口伝でのみ残っている昔話、知る人ぞ知る旧跡、みんなに伝えたい出来ごとや場所の記録など、大崎に関することなら何でもOK。ぜひ情報をご提供ください。

●また「こんなお店があるよ!」「こんな技術をもった人がいます!」など、お店や人自慢などの情報も募集中。取材に伺わせていただきます。

◆お問い合わせは『新鮮大崎』編集部まで　✉ office@brain-core.co.jp
(一社)大崎エリアマネージメントホームページからも http://www.ohsaki-area.or.jp

ミニコミ誌「ふれあい」スタッフによる特別発行「おばあちゃん、おじいちゃんの昔話」。記憶から消え去ろうとする“ふるさと大崎”の原風景を口述筆記で記録したガリ版刷りの貴重版。

『大崎いっとこ新聞』=大崎に縁のあるすべての人へ、グルメやショップ、気になるスポットやイベント情報など、毎日がちょっと面白くなりそうな地元情報を日々Webで発信しています。 口コミなどの情報もどしどしお寄せください! http://osaki-times.net